

ONE FOR ALL

～ひとりはみんなのために～



令和4年度2学年
第6号
令和4年11月11日

中学校生活初の歌声響く♪クラスの団結深まる♪

運動会が大成功に終わり、勢いそのまま文化祭、合唱コンクールに取り組みました。1組は『遠い日の歌』、2組は『心の瞳』を合唱曲に一生懸命に取り組みました。コロナ禍で人との距離が制限され、会話やコミュニケーションもできるだけ控えて生活してきました。合唱を通して、コミュニケーションの大切さ、尊さを学びました。お互いの接点がなければ、トラブルもありません。しかしそれでは、人として大切な『思いやり』の心は育ちにくいかもしれません。練習では、お互いのことを思ってとった行動でも、言葉が足りなくて相手に嫌な思いをさせてしまうことがありました。面と向かってしっかりと話してみると実はお互いのことを思っている行動だと気がつきます。我々大人も同じです。相手を思いやること、言葉を大切にすること、当たり前のようにしてきたことの大切さを改めて学ばせてもらいました。わかっているだろうではなく、ひとつひとつの言葉を大切に、コミュニケーションをとっていききたいものです。

学年主任

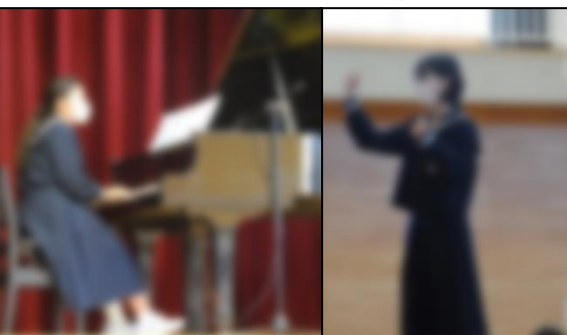
クラス合唱 指揮者・伴奏者・パートリーダーより

1組 指揮者

初めは指揮も思い通りにいかず、曲の雰囲気やそれぞれのパートの強弱の表現など上手くいかなかったけれど、原曲を聴いたり、先生や友達にアドバイスをもらったりして練習していくうちに自信もついてきて、本番は最高の合唱にすることができてよかったです。

1組 伴奏者

初めて経験した合唱コンクールでは、クラスの絆を強く感じることができました。また、伴奏者として歌を支える役割を任せてもらい、途中、足のケガで不安になった自分を、先生とクラスみんなに支えてもらい頑張れたことは忘れません。

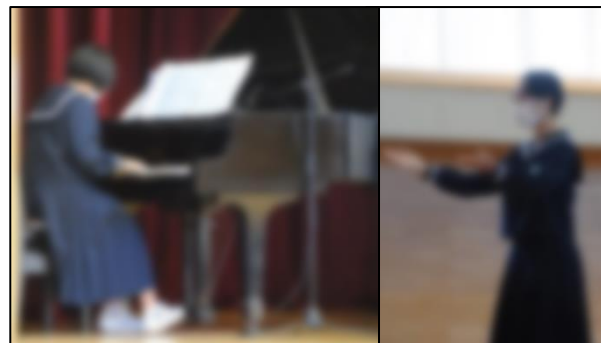


1組 ソプラノ

全員で練習しているとき、私はちらりと横（みんなの方）を見ました。みんなが同じ方向を見て、同じ歌を歌っているんだと改めて実感し、何故かとても感動しました。心と成長を感じる場面が多くなっていること、とても嬉しく思いました。

1組 男声

文化祭に向けて合唱を始めた頃から今まで、様々な場面で衝突することがありましたが、最後は全員で心を一つにして歌うことができたので、パートリーダーをやって良かったと思いました。



2組 伴奏者

私は練習の時からずっとミスばかりで、ましてや他の人に聞かせるとなると、止まってしまうのが本当に怖くて本番休もうかとまで思っていました。でも、みんなが励ましてくれて、私がミスしてもかまわず歌い続けてくれたから、本番とても良い演奏ができました。コロナで大変だったけれど、みんなと合唱するのは、とても楽しかったです！

2組 アルト

初めての合唱でパートリーダーをやり、色々大変なことばかりで、うまくできないことばかりだったけど、最後は責任をもってやりきることができて、パートリーダーをやって良かったです。

1組 アルト

1組は「遠い日の歌」を歌いました。この曲は音程やリズムが難しく、アルトパートの中でも苦戦し、歌えるようになるか不安でした。本番では「優秀賞」は取れなかったのですが、1組らしい合唱ができ、とても楽しかったです。

2組 指揮者

初めての合唱、初めての指揮者でうまくみんなをまとめあげ、きれいな歌に仕上がるか不安でした。当日、みんなが1人1人一生懸命に歌ってくれたおかげで、優秀賞を取ることができました。やってよかったです。

2組 ソプラノ

今年は初めての合唱コンクールがあり、私はソプラノのパートリーダーをやらせていただきました。パートをうまくまとめられなかったり、歌声が合わなかったり、練習している中で大変なことがたくさんありましたが、本番は今までの中で最高の歌声になりました。そして、パートリーダーの仕事は大変だったけど、とても良い経験になりました。

2組 男声

ほくたち2年2組は、ケンカをしながらも、1人1人が心を合わせて「心の瞳」という曲を歌いました。練習中は、「音程がずれる」「もっと大きな声で」などと、いろんな課題が出ましたが、あきらめず最後はみんなが力を出し切り、感動を与えることができました。

